

「大学スポーツ振興の推進」(立命館大学の取組)

○大学横断的組織として関西地域のスポーツコンソーシアムの推進 <他大学と連携した取り組み>

2012年度に5大学(同志社大学・関西大学・関西学院大学・龍谷大学・立命館大学)により検討が始められ、2016年度より大学スポーツ振興関西地区検討会が関西圏の有志の教員により発足した。さらに2017年度には、関西地域の大学教職員有志により検討が進められ、大学および競技横断的な課題整理を進める基盤がつくられた。これら議論された知見およびネットワークを基盤として、2018年4月に「一般社団法人 大学スポーツコンソーシアム KANSAI (KCAA)」が創設された。

当事業では以下4つの事業を推進する予定。中長期的なビジョンは図に示す。初年度は大学スポーツ改革のための準備に着手する予定。

一般社団法人 大学スポーツコンソーシアムKANSAI 事業内容

◎プラットフォーム整備に関する事業

コンソーシアムの信頼創造

学生連盟・競技団体・民間企業との関係構築

他地区における統括組織との連携

◎「人財」の育成支援に関する事業

ライフスキルプログラムの開発・共有・実施

キャリア教育プログラムの開発・共有・実施

スポーツアドミニストレーターの育成

◎大学スポーツにおけるガバナンスの構築に関する事業

傷害防止と安全・安心な活動環境整備

ロールモデルとなるアスリート像のデザイン

財務・資産管理システムの構築

◎大学スポーツの普及・啓発に関する事業

対校戦の実施や応援文化の醸成

(アマチュアスポーツにおける集客手法等)

情報発信

大学スポーツのブランディング強化パッケージ作成

○スポーツ活動と学修活動の両面の高度化に資する取り組みの支援 <本学独自の取り組み>

学生それぞれが個別の夢や課題を抱え、目標、能力、意欲も異なるという現状において、学生「一人ひとり」が最大限の「成長」を遂げられるよう学びの主体として「自立」していくための学生支援としてSSP (Student Success Program) の推進をサポートする。正課・課外活動で時間的制約が厳しい体育会学生に対して積極的な利用を促す仕組みとなることを期待する。具体的には、練習が休みである曜日などを活用し、体育会学生のアセスメントを実施、セルフマネジメントにおける長所と課題を洗い出し、学生本人とも共有する。

学生自身に長所と課題を自覚させることにより、課題克服に向けた支援の活用を促進する。これらのうち体育会アスリートに限って実績データを収集、傾向を分析した上で、効果的なモデルを検討する。

